

これが我が社の SDGs推進!

vol.
01

新潟県のブナの森を次世代に



01 昭和木工 有限会社 様



環境に配慮した製品・サービスの提供



02 株式会社 Liv(リブ) 様



革新的新素材で資源を守る



03 株式会社 K.いしかわ 様



SDGs

ゆきぐに
雪国を幸国に変える



04 有限会社 鈴木 様



持続可能でよりよい世界を目指す国際目標“SDGs”の達成に向けて
企業による取り組みをインタビューを交えて紹介します

次のページを
ご覧ください

01

昭和木工 有限会社

木工家具製造業

T954-0058
新潟県見附市葛巻2丁目5-23
TEL.0258-62-4668
FAX.0258-62-5136
<https://shouwamokkou.com/>



新潟県のブナの森を次世代に

スノービーチプロジェクトのメンバーとしてブナ林と
それを取り巻く自然環境をアピールしています。



代表取締役社長
宇之津 健さん

INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんで
すか？

15 陸の豊かさも
守ろう
間伐材の積極的な
利用により環境保護に
取り組んでいます。

間伐材の利用は環境保護に繋がる重要な取り組みと考えています。(ゴール15)

魚沼大白川産のブナ林からオリジナル商品を作り出し、地方から発信し地域活性化に貢献したいと考えています。

私たちは創業して70年余り木工業として活動してきました。工場は新潟県のご真ん中、刈谷田川の流域に位置し、その源は守門岳にあります。その守門岳の麓、魚



沼大白川のブナ林の間伐材に巡り合い、その樹皮の模様に魅せられました。

ブナは変色や変形、腐りやすいといった理由から、家具や建材として不向きとされてきましたが、近年は乾燥技術や加工、製品化の工夫によって欠点を補うことが出来るようになってきました。さらに間伐が行われてきたブナ林の木は、家具や建材としても使い易いのです。

5軸NC機械という最先端の加工機械と当社が培ってきた伝統技術を一体化させ、今まで廃棄されてきた樹皮に新しい価値を見出し、魚沼大白川の里山の魅力を発信しています。

——その他に取り組んでいることはありますか？

13 気候変動に
具体的な対策を
森を元気にするために
一役買っています。

間伐材の利用は森林の健全な成長や生態系の維持、土砂災害の危険性を下げるなど、様々な効



果が期待されます。(ゴール13)

100年前に植えられた若芽が大木となり、間伐で伐採されます。地球温暖化による気温上昇で次の100年後には分布面積が10分の1に減少すると言われています。ブナの森の自然を少しでも次の世代に伝えていきたいという思いから参加しました。

新潟大学の森林生態学の教授を中心に県の協力のもと、製材業者や家具メーカー、クラフト作家、建築家などの関係者が参加する「スノービーチプロジェクト」のメンバーとして活動をしています。このプロジェクトはブナ林を持続的に管理して活用する取り組みを「スノー(雪国の)ビーチ(ブナ)」と名付けブランド化を目指しています。

編集後記

今回のインタビューを通じてSDGs推進に対する取り組みや考えを丁寧に教えていただきました。また、永年同地にて木工業を営んできたからこそ感じている思いも熱く語っていただきました。スノービーチプロジェクトに参加したことで仲間作りにも繋がっているそうです。

SDGsへの取り組みが社会全体・企業・取引先、そして社員の明るい未来にも繋がっていることを感じました。



02

株式会社 Liv (リブ)

住宅事業部
ナテリアハウス
河内工務所

建築工事業

〒954-0175 新潟県長岡市中野西丙470
TEL.0258-77-3945
(受付時間9:00~18:00)
FAX.0258-66-1423
<https://nateriehouse-kawachi.com/>



環境に配慮した製品・サービスの提供

ごみの削減や、環境配慮素材の利用を通じて、
環境保全に取り組みます。



代表取締役
河内 大志さん

INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんですか？

- 11 住み続けられるまちづくりを
自然素材の活用、
廃材等を排出しない
住宅の提供により
- 12 つくる責任 つかう責任
環境保全に貢献する。

当社は、これまで自然素材を積極的に活用し、地域での暮らし方にあった設備環境を整えてきました。地域密着型工務店としての従来のスタイルを守りつつ、新しいこととして具体的には、ナテリアハウス=自然素材による風土に合った住宅の提供とユニットハウス（産廃物を排出しない、ウイルス対策、感染予防の効果有）の導入により、安心、安全な住



宅を提案していくことにより、住み続けられるまちづくり（ゴール11）に貢献するよう取り組んでいます。また、これに伴い廃材等をお客様に喜ばれる物に再利用する取り組みも行っており、つくる責任、つかう責任（ゴール12）を果たし、人の健康や自然環境に与える悪影響をできる限り削減するよう取り組んでいます。

——その他に取り組んでいることはありますか？

- 4 質の高い教育をみんなに
地域の子どもを中心に、
自然素材の重要性を
伝えることにより、
環境に配慮する意識や
考え方を啓蒙していく。

当社では地域の住宅関係、生活全般の窓口になって地域を繋ぎ、活性化させることができればと考えています。その一環として子どもたちの育成や地域の活性化を目的として地元の産業祭りで建築組合が開催している子ども向けの親子木工教室の企画、



運営に関与し、木工作業を通じ、地域の子どもたちに地域で育った木材に触れることにより、自然素材の素晴らしさや本物の素材に触れることの楽しさを伝えながら、地元の良さも理解してもらい、環境に配慮した意識や考え方を身に付けてもらえればという思いで取り組んでいます（ゴール4）。未来ある子どもたちが将来住みやすい地域にするため精一杯取り組んでいるものです。



編集後記

今回の取材にて、SDGsへの取り組み内容について収まりきらないほどのメッセージを熱く語っていただきました。従来より人と環境に配慮した基盤があり、そこにSDGsへの取り組みという具体的な目標を掲げたことで、経営方針が明確となり、より地域の住みよいまちづくりに貢献していこうという気概を感じさせられました。



03

株式会社 K・いしかわ

製本、印刷物加工業

〒955-0801
新潟県三条市諏訪3-4-14
TEL.0256-36-7585
FAX.0256-36-7587
<http://k-ishikawa.com/>



革新的新素材で資源を守る

新素材のLIMEXにより安心安全な商品づくりと
地球全体の助けに貢献する



代表取締役社長
石川 一昭さん

INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんですか？



紙やプラスチックに代わる
新素材により地球規模で
資源保全に貢献する。

当社は、主に食品用差し札の製造、印刷をしている会社です。今の時代でも印刷物は“紙”が一般的ですが、紙を作る場合は木や水が必要になります。当社のこれからの取り組みとして、「LIMEX」という石灰石を原料にした素材を使うことで、プラス



チックや紙を製造する際に必要となる原油や木材、水などの将来枯渇する可能性のある天然資源の利用を抑えることができますようになります。

当社はこの「LIMEX」をケーキピックに使用しているので、お客様である皆さまからも知らず知らずのうちに環境に貢献いただいております。これからは抜群の存在感で食品の印象をより高め、お客様のニーズにあわせて200種類以上の型から選択しオリジナルの制作もしていますので、環境だけでなくお客さまから喜んでいただけるよう力を入れていきます。そして全国のスイーツ洋菓子店に普及させ、地球環境の課題解決に貢献できるような取り組みを進めていきたいと考えています。

——その他に取り組んでいることはありますか？

12 つくも責任 つかう責任
徹底した衛生管理で
お客様に安心安全を
提供する。

まず企業として提供する商品には徹底した管理により、お客様には商品と一緒に安心も届けるということが大切だと考えています。皆さんに安心して商品を利用いただけるように、当社ではUV除菌システムを用いた衛生管理により、大腸菌や黄色ブドウ球菌をほぼ完全除菌しています。当社の商品はケーキピックをはじめとして皆さんの手に触れる機会が多いため、衛生面も配慮したうえで安心安全も提供することがお客様の満足につながると考えています。



編集後記

今回インタビューにあたり、SDGs推進の取り組みについて実施していることや考え方について教えていただきました。SDGs推進は、従業員や企業のほかに一般の方々にも深く関係していることに改めて気づきを得ました。

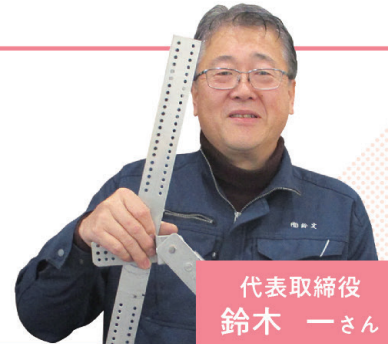
取材先では、従業員や取引先、一般の方々等の相手方を思うことがSDGsにつながり、ひいては地球全体という大きな規模で変化を起こせる可能性を秘めているのだなと感じました。





「雪国を幸国に変える」

雪害・防災製品を作ることによって持続可能な住居環境を実現する。——これが我が社のSDGs



代表取締役
鈴木 一さん

INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんで
すか？

11 住み続けられるまちづくりを
安全かつ強靱で
持続可能な都市及び
人間居住を実現する。

当社は、主に雪害を含む防災関連製品の開発・製造を行い、製品を通じて安全に住み続けられるまちづくり(ゴール11)に貢献したいと考えています。毎年、屋根の雪下ろしの際の転落事故で人命が失われている事に対し、何とか少しでも人命を救うため、雪下ろ



しでの転落事故を防ぎたいとの思いからどんな間隔でも取り付け可能な命綱装着用の和瓦用アンカーの開発を行いました。その開発と製品化が認められ、日本雪工学会から技術賞を受賞することが出来ました。また、全てのひとが安全で災害に強いまちに住むことが出来るように、地域の学校などで講演し、防災製品の取り付け体験をしてもらうなどして防災に対する普及にも力を入れています。

——その他に取り組んでいることはありますか？

4 質の高い教育をみんなに
全ての人に公正な
質の高い教育を確保し、
生涯学習の機会を促進する。

5 ジェンダー平等を
実現しよう
ジェンダー(社会的・文化的な性別)
平等を達成し、女性の能力の
可能性を伸ばす。

当社では男女の区別なく全ての社員に対して、能力を引き上げる教育プログラムを実践し、資格取得を促すなど質の高い教育体制を目指しています。約6割の社員がフォークリフトの免許取得に成功し



たほか、グラフィックデザインや動画制作など新たな分野の資格取得に女性が挑戦し、当社も積極的に登用を図るなど、挑戦と後押しへの好循環が図られています。また、女性の活躍支援の観点から、育児等で制約のある社員に対しては積極的な対話の機会を設け、事情に合わせた勤務体制や社員教育を実践することで、女性の活躍できる場を確保し、雇用の継続、女性の地位向上を目指しています。



今回インタビューさせていただきましたが、SDGs推進の取り組みについて優しく・丁寧に教えていただきました。取材から、SDGs推進は、経営方針に活かされるもので、全ての社員に関係する大切な役割をもっていることが分かりました。取材先では社員・取引先・仕入先・地域の全てが共に幸せになれるように取り組んでいて、SDGs推進は、社会・会社・社員の明るい未来を築く有効なツールに成り得るものと感じました。



SDGsとは？

誰ひとり取り残さないために、世界で取り組む**17**の共通の目標

- | | | | | | |
|---|----------------------------|---|---------------------------------|---|---------------------------------|
|  | 1 貧困をなくそう |  | 7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに |  | 13 気候変動に
具体的な対策を |
|  | 2 飢餓をゼロに |  | 8 働きがいも
経済成長も |  | 14 海の豊かさも
守ろう |
|  | 3 すべての人に
健康と福祉を |  | 9 産業と技術革新の
基盤を作ろう |  | 15 陸の豊かさも
守ろう |
|  | 4 質の高い教育を
みんなに |  | 10 人や国の
不平等をなくそう |  | 16 平和と公正を
すべての人に |
|  | 5 ジェンダー平等
を実現しよう |  | 11 住み続けられる
まちづくりを |  | 17 パートナーシップで
目標を達成しよう |
|  | 6 安全な水とトイレ
を世界中に |  | 12 つくる責任
つかう責任 | | |

Sustainable Development Goals

[持続可能な]

[開発]

[目標]

SDGsとは、2015年に国連加盟国によって総会決議された持続可能な17の開発目標のこと。2030年までにこれらの目標の達成を目指しています。国際機関や政府だけでなく、企業、市民社会、子どもを含めたすべての人が目標達成することが求められています。

けんしんSGM | グループ

新潟県信用組合 見附支店

〒954-0057 見附市新町1丁目1番7号 ☎0258-62-2271

新潟県信用組合 今町支店

〒954-0111 見附市今町1丁目14番32号 ☎0258-66-3181

新潟県信用組合 三条支店

〒955-0071 三条市本町4丁目4番48号 ☎0256-33-2561

新潟県信用組合 三条東支店

〒955-0047 三条市東三条2丁目3番5号 ☎0256-35-3155

新潟県信用組合 中之島支店

〒954-0124 長岡市中之島565番地83 ☎0258-66-3320

けんしん /
SGM
活動

ソリューション活動

地域貢献活動

Small Group Management

全店を地域ごとに10グループに編成し、各グループが地域の特性を踏まえた高密度な営業活動と地域貢献活動を行っています。
1グループでは、ソリューション活動として情報誌を発刊し地域事業者のSDGs推進による元気なまちづくりに取り組んでいます。

【取材・発行】けんしんSGM活動 | グループ



新潟県信用組合

